

夕刊 日五十月五



刊 日
定価 一冊五銭
発行所 東京市神田区

兩親に贈る言葉

上村 哲彌

【八】

青年時代を首尾に終らしめんとするならば、その基礎を一歩々々早い子供時代から築かねばならぬ。十八歳の青年はよくそのホームシックを耐へ得るであらうか？それは大部分兩親がどの程度に幼少の頃から我が子の獨立自營の精神と、進歩的態度とを助成してやつたかにかつてゐる。それは兩親が子供を自分自身に屬するもの如くにあしらつたか、それとも子供を子供自身及び彼れの世代に屬するものとして取扱つたかにかつてゐる。それは特に兩親が子供を夜床に入れて抱へ包んでやることや、彼の耳を浩浩つてやることや、彼れを可愛い赤ちやんと呼ぶことや、人前で接吻することや、着換をさせることや、食物を切つてやることなどを止める年齢によるのである。と申して居ります。昨日の『母に贈る言葉』に於て私の申上げた『嫉は誕生から』と

實いふこととはホリングスウオース博士の主張と同一の精神によるのであります。子供は普通の兩親が考へてゐるよりも、遙かに一に早くから、博士の列擧しましたやうな身の廻りの世話が、獨りで立派に出來るのであります。若し適當に指導してやりますれば、自分でそれをするのを喜び、もし誇りとするものであります。現に幼兒補習學校の如きは生後一年八ヶ月からの子供を收容し、斯様な訓練を施して頗る好成绩を擧げてゐるのであります。

- 朝 0000000000
- 明日の献立 0000000000
- 朝 バターストハム ニックス コーヒー 果物
- 晝 味淋干 鰯 小井 大根おろし
- 晩 ビーフステーキ 付合 (さやえん豆) バタいため トマト) 濁りスープ(青豆) サラダ(胡瓜) セロリ
- コーヒー 果物

教育者としての兩親に贈り度い言葉は餘りに多くして、説いても一盡きるところを知らませんが、最後に今から百年以上も前に出た獨逸の敬虔な老牧師カール・ウヰツテの残しました名訓を御紹介して終り度いと存じます。私達の子供達は、私達をつくりのものにしかたない。彼れは私達の善し悪しに従つて善くもなれば悪くもなる。私は全幅の確信を以て云ふ。若し私達の素質に恰憫、高邁謙抑、機智、愛想よさ、優しさ等々があるならば子供もまたさうなるしそれと反對であるならば子供も亦反對になる。兩親よ心されよ、教訓は始まりであつて終りを完了せしめるものは生きた手本であること。世の兩親方、ウヰツテの申しましたやうに子供の品性をつくる原動力は私共の教へるところではなくして私共の爲すところのものであります。否私共の言つたり爲たりする事ではなくして、その奥にある所の私共自身の人間としての本質そのものであります。本源を淨めずして下流の澄むことを求める事は出来ません。心してお互の本質を清め高め深め、而して豊かにすべくお互に戒め合ひ勵まし合つて精進しやうではありませんか。

【完】

内科 小兒科 花柳病科
藤沼醫院
平町紺屋町 電話五〇七番

社員採用
固定給參拾圓外手當支給
二十才以上五十五才迄
希望者は履歴書持參本人來談
平町鍛冶町十八

日本商事株式平支部
平町鍛冶町十八

内外科一般
金城醫院
平鎌田町(電三五八)

春の...
レンコート
春のオーバ
春のセビロ
御用命を!

平町 正札堂洋服店
電話四三番

花の春!
春は麗か花盛り
行きませう!
花の野へ!! 山へ!!!
カメラを持つて
皆んなで楽しく朗かに!!!
そして記念の撮影を!
暗室不要 國産カメラの代表品
東郷製 マイコーカメラ
MSカメラの新型も澤山入荷しました
トウゴロカメラ特約店 いづみや玩具店
MSカメラ特約店
平 驛前

吸入用酸素純度 99%
体温計
寒暖計

度量衡
モノサシ
ハカリ
秤ノ取緒
垂糸
修繕致シマス

關内藥局
電話四〇番

是非!
御融通には御用命下さい
萬事便利な御相談に應じます
三井質店
平・四電六〇六番

音楽施設に

是又縣下一

ピアノが二台

磐女校に到着

これで合計四台となる

教育施設に運動体育に其他總てに縣下一の誇を以て精進しつゝある磐女は此程新らたに生徒の練習用に當てるピアノ二臺を櫻丘會の援助で購入本日着荷した是れで同校備付のピアノは都合四臺となり會津女校の三臺を凌駕して是れ又縣下一となつた、田中教諭は語最近時代の要求と申しま

工事費納入順に

電話番号を決定

来る十八日に架設抽籤

既報平郵便局の本年度特設電話は十箇と決定したので来る十八日午前十時より同局樓上で申込者四十三名の抽籤を行ふ事になつたが尙當選者の電話番号は工事費百八十八圓の納入順に依つて決定する筈

軍需製油

續々出荷

既報石城販利四倉菜種工場は過般陸軍王子兵廠に製油一千本を納入し付添に行つた同組合酒井氏が更に名士

平女青總會

終て名所見學

豊岡小學校に開催平女子青年團は来る二十四日午前八時半驛前から自動車に分乗豊岡村に向ひ同村小學校講堂に總會を開き豫算決算協議後宣言決議をなし鹽屋崎燈臺 沼之内辨財天を見學參詣する筈である

平、原町間

半流線型

性能試験施行

仙臺鐵道局では来る廿日から二十七日迄常磐線平、原町間で客車十三輛からなる臨時列車を仕立て半流線型

平町保護者會

評議員決定

平町小學校保護者會總會は昨十五日午後一時から第二校に開き評議員の改選を行つた結果左の如く決定した(平一校)松野尾繁雄 石川義助 青天目源一郎 柳内悦殿 園部國安 大和田部司 田中金三郎 金子重次 阿部政右衛門 山崎忠兵衛 千葉彦治 佐藤伊太郎 關原新一郎 川崎文治 柴田徳二 酒井清 石田吉五郎 清水廣政 鈴木條三郎 石川友次郎(第二校)木村浩 小野園次郎 岩立淺藏 根本善吉 安齋徹 藤田英助 高田由衛 馬場武太郎 鈴木充 鈴木淺之助 鈴木健太郎 堀江新太郎 高木喬 永山勇吉 酒井喜代正 永島磯惣太 廣田徳行 緑川喜三郎(第三校)志賀盛榮 鯨岡全之助 吉田民哉 岡田千藤 石澤茂 佐々木俊雄 吉田喜代治 諸橋正

C五五型機關車の性能試験を行ふ

鐵道代表柔道

本十六日鐵道管内道場で開かれた東鐵管内柔道大會に平驛附近からは左記三氏が水戸運輸代表として出場した 平機關車三段白井晃 植田驛二段坂場志邦 平驛二段坂本文彦

交換手の慰安

平郵便局交換手六十名は来る卅一の兩日二班に分れて双葉郡廣野村地内折木鏡泉に遠足をする

縣産婆總會で

表彰される

郡内優良會員 来る廿四日郡山市に開催される縣産婆總會に優良會員として表彰される郡内の關係者左の如くである (平)白石テル 新妻タケノ 齊藤イノ 大野ハル(植田)大平會子 荒川ヒヤク(四倉)新妻フミ

平商旅行團歸る

去る十二日朝出發した平商の關西方面旅行團六十九名の一行は今十六日午後七時三十二分着で歸平する

鐵道公德宣傳

少年團健兒

平驛にお手傳

平驛は来る廿五日から一週間に亘り全國各驛一齊に行はれる公德週間に際し一般公衆と協力して汽車旅行を一層愉快なものにする目的から期間中は待合室ホーム驛賣店、指定旅館等に一般の公德心を誘致する公德標語入ボスターを掲げ驛員は徽章を配して旅客荷主に對し案内誘導に力める事になつたが公德心の啓發に専念

忠魂碑除幕式

川部郷軍で

川部村在郷軍人分會は昨十四日午前同村小學校々

庭に建立せる忠魂碑の除幕式を舉行、來賓百餘名各祝辭の後劍道、銃劍術の模範試合を行ひ盛會を極め同五時半散會した

中堅女生

現地講習

中堅農民講習生女子部の現地講習は廿日泉村字瀧尻精農志賀氏の許じむ向同村玉露農會實行組合を見學する

好間農事實行

好間十六日午後 時より同村共同作業場野榮栽培講習會を開くが講師は神谷農試の矢ヶ崎技手である

磐中遠足運動

磐中は今十六日目下修學旅行中の四年生を除き左の如く遠足運動會を催し五年生は神谷、草野方面の野外教練を行つた 一年好間上野原 二年關

伽井嶽 三年仁井田浦

第三理科研究

平第三小學校は来る十八日午前十時から四年生の理科研究教授を行ふ、

平職業紹介所報告

- 回 人を求める方
- ▽撤水夫 廿二：卅才 給料七：十圓
- △粕入夫 二〇：卅五才 給料十：十四圓
- △農夫 四十才迄 給十五圓
- △粕入夫 卅才迄 給十圓
- △精米夫 廿五才迄給六圓
- △採萩夫 四十才迄 日給一圓
- 回 職を求める方
- △事務員 十九才 中卒
- △トラック助手 廿四才 高卒
- △土工夫 卅一才
- △鐵工 廿二才 高卒

胃腸性病

内科 胃腸病科 花柳病科 性病科 皮膚科

門 專

院醫 性病 胃腸 村松

(番〇七一町南町平)

療 間

殺到した神輿が

警官に激突

胸骨を折り重態

天津教大量檢舉の鬱憤か？

夏井村鎮座縣社大國魂神社例祭は昨十五日執行されたが同日午後六時頃同村

内外科醫院に入院
加療中であるが内出血多量の爲重態である

十時から農試分場内で産業座談會を開き農家經濟の向上に就いて意見の交換をした

青年團の手で供奉された神輿渡御が同村字管波

地内に差しかけた際、當日平署より雜沓取締り應援に來村、人出を整理中の同署外勤渡部良夫巡査が却けて傍の

凶報に接した平署からは本十六日午前中小林警部補、木戸部長等が現場に臨檢原因取調中である

同村は過般の邪教天津教手入れの際の大量檢束以來平署に對して惡感を抱き居るの風聞ある爲め故意か偶然か事件を

土藏壁に寄つた處へ神輿が殺到同巡査の胸部に神輿の櫓の角棒が激突不意を喰らつた同巡査は肋骨二枚を折骨されその場に昏倒、直に平町才雄小路大河

重大視した平署は慎重に原因探究中であり結果を注目されてゐる

妻の情夫を海軍ナイフで斬付け瀕死の重傷を與へて檢事より懲役十ヶ月を求刑された錦村大字大倉宇四反田三五昭和人絹會社鐵筋工今野安藏(三)に對する傷害事件の判決言渡し公判は今十六日午前十時半から平支部で開廷中島裁判長から懲役十ヶ月但し執行猶豫三年間を言渡された

監置を條件に

兄嫁殺しが

不起訴と決定

精神異常の犯行と認定

(既報)去る四日夜九時半頃傳家の寶刀を揮つて兄嫁タケヨ(三)さんを一撃の下に殺害した小名濱町字定西一無職齋藤昌治(三)の殺人事件は過般來平檢事局で清田

犯行と認定不起訴と決し直ちに實兄昌幸氏に監置せしめる事を條件として釋放したが監置室に出來る迄平署に留置する事になつた由

神谷産業座談 神谷産業青年團は本十六日午前

明日のラジオ

今晩の部

- 後六、〇〇 童謡と唱歌 若手縣釜石及花巻小學生
- 後六、二五 講演「日本佛數の特色」清水谷恭順
- 後七、三〇 子供と家庭の夕 和洋合奏 若葉和洋合奏團
- 後七、五〇 物語「杜子春」

明日の部

- 前八、三五 海猫樓 實況 金華山沖江ノ島より中繼(解説)猪川玳
- 前九、三〇 子供の時間 組曲(海)日響
- 前一〇、〇〇 日曜勤行眞宗與正寺派本山與正寺御影堂中繼(京都)
- 前一〇、四〇 講演「歐米諸國の醫療制度」佐藤正地方の雪害について「關屋延之助(新潟)
- 後〇、〇五 女流演藝の午(琵琶)那須與市一高野旭嵐 義太夫、新阪歌祭文 竹本越駒 詩吟 八重三 浪花節一名優の苦心」武

錦の間男斬りに

執行猶豫の温情

被告泣きくづれる

妻の情夫を海軍ナイフで斬付け瀕死の重傷を與へて檢事より懲役十ヶ月を求刑された錦村大字大倉宇四反田三五昭和人絹會社鐵筋工今野安藏(三)に對する傷害事件の判決言渡し公判は今十六日午前十時半から平支部で開廷中島裁判長から懲役十ヶ月但し執行猶豫三年間を言渡された

植用青年 植田町青年會は基

齊藤司法主任

幹事講習出席

縣警察官から選抜平署司法主任齋藤警部補は三春署白井警部補と共に本廿一日より六月下旬まで内務省主催で東京市内の警察講習所で開催される短期幹事講習に出席することになった

住宅四軒

一人て持つ男

平町材木町横田淺吉(三)は本年正月申盗罪で平署が檢査書類を送檢して歸宅させてゐたが最近逃走の惶あるため再び檢査した處又々他に餘罪發覺、取調中であるが同人は前記材木町の外三ヶ所に居を構へて居り職業も何が本業か判明せぬ男であると

青年學校

自轉車隊

勿來關見學

平青年學校生徒七十名は今十六日藤田、大越、松崎、鈴木、竹の各指揮員引卒の下に途中教練を行へながら勿來方面に自轉車行軍を試み關跡其他を見學歸校した

看護婦急派

求めに應じます

平町南町 看護婦會 電話三〇七

コソ泥捕逮

磐崎村大字上湯長谷居住田村御館村生土下窃盜前科三犯山口金吾(三)は去月中旬頃より同村長倉倉東坑石垣積作業場から立能ツルバ二丁を窃取した外、リヤカー、ツルパン等三件の窃盜を働へたこと發覺平署に檢査された

裁判所だより

△既報無一文で谷口其他二ヶ所に登樓二十餘圓の無銭

平町人事

△三町目九高木登氏二女行子さん
△仲間町五二猪狩源一氏長女純子さん
△死 亡
△紺屋町五四高野ナミさん(四四)



(上演上)
丸尾至陽(書)

悟道軒圓玉(作)

一二二 評定所の白洲
お花に八百松は青木に衣類と蚊帳を差入れて渡邊政之丞の屋敷を出た、するとその翌日の朝小普請奉行の部下稲垣重藏といふものがこれへ参つたが、その稲垣が青木にむかひ、
「この度御手前は詮議の筋有之今日評定所に差出すべしとの小普請御奉行よりの御沙汰にてござる、ついでは一應申し開けおくが御吟味中は言葉を慎まれるやう」と申し渡した、評定所で係りの者がしらべる時、その答弁には丁寧な言葉を用ひよとのこと、彌太郎はこれを聞いて委細承知いたしましたと答へた、これから食事をして衣類をあらためた、お花と八百松が持つて来た紋付の帷子に麻上下着用、麻上下は禮服です、それから西東三のもとに置いて来た大小も取りよせてはあがるがそれは付添の者が持つて行く、駕に乗せられて本所一つ目の弁天小路渡邊政之丞の屋敷を出て辰の口の評定所におくられる、町人ならば町奉行所にて吟味をうけるが青木は旗本、



れ故裁判する役所は評定所幕府時代高等の裁判所です、駕より出でて玄關より上るこの時には繩はかけぬ、それに大小も渡した、これは武士の体面をたもつため、玄關を上るとお徒士目付が案内し控所に通した、こゝには屏風がたてまはしてあ

差してある力の柄を握る、都合三人付添ひ居る、すこぶる嚴重です、しばらくすると「お席」とかうふれて来た、これは席が立つ即ち吟味をするといふことです、そこでお徒士目付が青木の差してゐる大小を取つて丸腰にいたし審問所につれて行く、こゝは五十疊ばかり敷ける廣間、正面に居るは係りの北町奉行池田播磨守、その右に居るは大目付それにお目付、これを三手がかりの吟味といふ、白洲の縁には町方與力がひかへ居る、なほ

木との間は二間あまり距離がある、この池田播磨守は安政五年の九月京都において捕へて江戸に送つた勤王の諸士を調べた奉行、稱して首斬り池田といふ程の猛烈な人物、これは大名の池田より旗本の池田に養子に來た人です、おそろしい疝癪が強い、青木は池田の氣質を心得てゐる、それ故わざと池田を怒らしてさうして自分の犯した罪の急所にふれぬやうにさせやうとかう思つた、たちの悪い被告人があるものです。扱播磨守はしばらく青木を見つめてゐたが

り、それへ着座して休息してゐると付添ひのお徒士目付が
目「御法によつてはがひにいたす故左様心得なさい」
かういつて麻繩を以て手首を縛り、五六寸のばして帯へ括し付けその結びめに袴腰の上にならした、それに御徒士目付二人が左右の袖をおさへ、今一人は青木の

非常警衛として同心ならびに牢屋係りの者に袴の股立を取つて控へる、至つて嚴格です、氣の小さいものはこれにおどろいて問はれるまゝに白状する、しかし青木は曲者です、それに自分も評定所につとめてゐてこんなことにはなれてゐるからすこしもおどろかない、吟味をする池田播磨守と青

ますか、また他に何ぞおたづねの筋がございますか、ござりまするならば一まとめにしてお答へをいたします」と申しながら、これは向ふをおこらせる手段。
廣 告

女子和様
書道研究会

普通部
調和歌
手紙文
高等部(明春ヨリ設ク)
入會隨時
御申込ニヨリ略規進呈
男子ニテモ特別御希望ノ方ハ入會差支ナシ
平町十五丁目二九
(警察署前)
柳香會
中世古樵舟

平町南町五一
根本婦人科醫院
(手術室完備)
(入院隨時)
根本 莊次郎
根本 貞雄
電話三四番

石炭
コークス
豆炭
阿部石炭店
平驛前
電話三十七番

産科 院長 木村寅次郎
婦人科
外科 醫學博士 内木宗八
藥局 藥劑士 大岩俊雄
平町新川町十九
病室完備
入院隨意
木村病院
電話一六四番

新學期
通學服
新學期が近づきました。
可愛らしい坊ちゃん嬢ちゃんの通學服を豊富に取揃へて特價奉仕
● 黒小倉 1.20
● (特製) 2.30
● 紺金釦服 3.60
● 紺K O型 4.00
● 第二・第三制服 3.60
● 紺セーラー 2.60
● 防水マント 1.20
● (裕) 1.65
ふかや洋服店
平三 電話三四番